

令和4年度の重点課題

○新体カテストの総合評価のAB率
46.2%、DE率15.4%である。((AB-DE)率
30.8%)

○全学年の男女とも、全ての種目で県平均
値かつ全国平均値より高い。

○運動習慣に関するアンケートによると、
「運動やスポーツをすることは好き」の項
目に肯定的に回答した児童の割合は
100%であり、引き続き体育の授業では
ACPなどの楽しく体を動かす活動を取り入
れていく。

○第5学年は新体カテストを実施し体力
の把握をすることができたが、他学年で
は実施していないため令和5年度では全
校で新体カテストを実施し、児童の体力
を把握する必要がある。

上記の課題を受けて具体的に
取り組んだ事項

- 男女ともに「50m走」に課題がある
ので、年間を通して、準備運動の中に
「なわとび」を取り入れ脚力の向上を
図った。
- 運動やスポーツが好きと自信や喜
びを感じられるように、「なわとびカー
ド」に跳べるようになった技を記録し、
可視化できるようにした。
- 持久力と走る力を高めるために「1
分前跳び」を行った。

令和5年度新体カテストの結果 県平均値(令和4年度)・全国平均値(令和3年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	18.33	20.17	34.17	44.50	34.50	9.13	153.33	20.00	54.17	第5学年	18.33	21.00	37.67	43.00	39.67	8.90	151.67	20.67	61.33

県平均値かつ全国平均値未満

令和5年度新体カテストの結果 県平均値(令和5年度)・全国平均値(令和4年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	18.33	20.17	34.17	44.50	34.50	9.13	153.33	20.00	54.17	第5学年	18.33	21.00	37.67	43.00	39.67	8.90	151.67	20.67	61.33

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	33.33	33.33	16.67	16.67	第5学年	33.33	66.67	0.00	0.00

学校独自の意識調査

○自校のアンケート「私は運動をすることが好きだ」の項目において
肯定的に答えた児童の割合が84.7%、否定的に答えた児童の割合が15.3%

重点課題

- 【情意面】
・「体を動かすことが好き」という項目で肯定的な回答の児童が
多いが、「嫌い」「やや嫌い」と答えた児童もいた。
- 【生活面】
・「テレビやスマートフォン・ゲームの使用時間が3時間を
超えていると答えた児童が半数を超えてる。
- 【体力面】
・全校児童の体力の把握。
・「持久力」に課題がある。
・5年生男子では、新体カテスト評価がC以下の児童が
半数を超えていた。

令和6年度の
重点目標値

- 自校のアンケート「私は運動をすることが好きだ」の項目において、肯定的に答える児童の割合を85%以上にする。
- 男女ともに「20mシャトルラン」に課題がある。持久力を高めるために走のACPを授業や遊びに仕組んでいく。
また、令和5年度に行った朝会時間のランニングと走った周回数を記録する持久走カードも引き続き取り組む。
自分の走った周回数を見える化することで、体を動かす喜びや楽しさ、達成感を感じることができるようになる。
- 男女ともに「長座体前屈」に課題がある。生活振り返りシートに「柔軟」の項目を設けることで、柔軟性を高める。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- 年間を通して準備運動に走のACPを取り入れる。
・ふえおに
・おにごっこなど

体育の授業以外で行う取組内容

- 児童会を中心に全校遊びを実施する。(仲間づくりと体力を目指した集団遊び)
- 年間を通して、朝会時間にランニングを計画し実施する。
- 全校児童を対象とした意識調査をする。
- 家庭でも行うことができるACPの資料を配布し呼びかける。
- スマートフォンやゲームの使用について保護者にも通信等で啓発する。